

平成 29 年度 第 4 回木曾川水系流域委員会 議事要旨

日 時:平成 29 年 8 月 22 日(火)15:00～17:00

場 所:AP 名古屋 名駅 8 階 B+C+D ルーム

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1)整備計画 変更項目の骨子(案)と主な論点

(2)主な論点に対する集中審議について

主な意見は以下のとおり。

(長良川遊水地について)

- ・県管理区間と整備計画の目標流量が異なるため、内ヶ谷ダムの効果も含め整合性を整理すること。
- ・6カ所の遊水地を絞り込むにあたり、優先順位をつけるための評価基準を明確にすること。
- ・「開口部を締め切ると当該地区の安全度が向上する」とあるが、対象洪水では浸水するという前提説明が必要である。
- ・遊水地内の排水計画や、買収の有無等土地の扱いについて整理すること。

(地震・津波対策について)

- ・耐震対策は地域の津波避難計画とも連携して進めるべき。
- ・「平常時の最高水位」、「津波水位」の定義について、次回委員会で示すこと。
- ・耐震について、この 10 年間で実施してきた内容を明らかにした上での耐震対策であることを説明すべき。

(今後の河道管理の考え方について)

- ・木曾川水系全体の土砂収支も整理しておく必要がある。

(良好な自然環境、水辺空間の創出による観光振興への貢献について)

- ・長良川については、河口堰により汽水域から淡水域になったことも考慮してヨシ以外の植生についても考えてはどうか。
- ・インフラツーリズムやエコツーリズムについて、民間業者も含め様々な関係者と連携してもよいのでは。

(3) 流域委員会の今後の進め方について

委員会を1回追加し、11月に開催予定の第5回流域委員会で長良川遊水地と耐震対策についての集中審議を行うことです承。

4. 閉会